

群馬直美「葉っぱの詩」展 PART 五

江戸野菜と木の実

— いにしえの絵師たちと —

入場無料

国営昭和記念公園 花みどり文化センター

2011.12.3 (土) - 2012.1.31 (火)

9:30 - 16:30 (入場は16:00まで 12/31・1/1は休館)

江戸野菜と木の実の絵

群馬直美さんは、原寸大で葉っぱを描き続けている画家さんです。そんな葉っぱの画家さんが、5年ほど前から野菜を描きはじめています。今回展示する江戸野菜の絵は、2011年「家庭画報」“よみがえる江戸野菜十二月”で、連載された原画です。「編集者さんと一緒に生産者さんを訪ねることからはじまりました。あるときは、わさびの棚田に登り、またあるときはウド室に入り、モデルの野菜と出会います。そうして手にした野菜たちと、何日も何十日も向き合っています。描いてるうちに、モデルの野菜が朽ちてなくなってしまうこともありました」。

葉っぱの画家さんの描いた野菜の絵は、やっぱり原寸大です。「新宿一本ねぎは、長さ1メートルもある大作です。東京ウドを描いてるとき、大きな地震がありました。余震が続き、計画停電でロウソクの灯りを頼りに描くしかないか……と、落ち着かない中、描きつづけました。東京都農林総合センターには、昔の人たちが描いた野菜の絵があります。終戦間際、画家山村絵師が描いた半白きゅうりは、静かな静かな絵です」。

現代を生きる葉っぱの画家さんと、いにしえの絵師たちとの時空を超えた展覧会。ぜひ、ご高覧ください。

群馬さん自ら撮影したモデル野菜の資料写真(約740枚)、「東京の木の紙」で作った2012年版カレンダー「木の実のつぶやき」の原画、「葉精たちの詩」(葉画ワークショップ作品)も、お待ちしております。

公開制作

会期中、展覧会場で葉画家 群馬直美さんがほぼ毎日、作品制作。

*12/28-1/4、毎週水曜日は、公開制作はありません。

*モデル調達の際など、不在の時もございます。

講演会

もっと江戸野菜を知ろう!

江戸東京・伝統野菜研究会代表 大竹道茂氏による「江戸東京野菜の魅力」。

2012年1月22日(日) 13:30-15:00 花みどり文化センター講義室にて

*定員 30名 *参加費無料 *要予約 (042-526-8787 花みどり文化センター)

2009年6月14日
馬込半白きゅうり
高橋健太郎さんの畑にて
6月8日収穫
紙/テンペラ
size:402×275mm



© NAOMI GUMMA 作品撮影:えくてびあん

協力 (公財)東京都農林水産振興財団・NPO法人ミュゼダグリ

●群馬直美 [クンマ ナオミ] プロフィール●

群馬県高崎市生まれ。1982年、東京造形大学絵画科を卒業後、ウィンドー・ディスプレイ、イラストレーションなどの仕事に携わる。大学在学中に、新緑の美しさ、葉っぱの生命力に深く癒された経験から“葉っぱ”をテーマとする創作活動に入った。1991年に、緻密な描写のできるテンペラ画と出会い、現在の作風に至る。自然からのメッセージを汲み取りつつ、葉っぱ1枚1枚をありのまま丹念に描きあげた作品には定評があり、多くのファンを持つ。個展、ポストカード制作、葉画ワークショップなどで活躍中。国営昭和記念公園緑の文化施設ゾーン基本計画検討委員。『NHK俳句』テキストにて、連載中。東京都立川市在住。著書に、絵本『アーちゃん-神さまがくれたお友だち-』(燦葉出版社)『木の葉の美術館』『木の実の宝石箱』『街路樹葉っぱの詩』(いずれも世界文化社)。

<http://www.wood.jp/konoha/>

お問合せ＆お申し込み

国営昭和記念公園 花みどり文化センター 042-526-8787
〒190-8530 東京都立川市緑町3173 <http://www.ktr.mlit.go.jp/showa>

主催 国営昭和記念公園



*JR中央線・南武線(立川駅北口)より、徒歩12分
*多摩都市モノレール(立川北駅)より、徒歩10分